

# 精華地域学校規模適正化

## 推進協議会ニュース 第1号



平成20年12月  
教育企画課

### 奈良市学校規模適正化について

本市では、少子化により子どもの数の減少が続き、多くの地域で学校・園の小規模化が進んでいます。一方、大規模集合住宅の開発が進む地域の小学校では過密な状況になっています。こうしたことから学校規模の適正化が必要となっています。

教育委員会では奈良市学校規模適正化検討委員会からの提言を受け、平成20年1月に「奈良市学校規模適正化実施方針」と「中学校区別実施計画（案）」を策定し、より良い教育環境の整備・充実のため学校規模適正化に向けて取り組んでいます。

学校規模適正化の実施にあたっては、対象地域において保護者や地域住民、学校関係者のそれぞれの代表からなる協議会を設置していただき、十分協議し、進めていきます。

### 第1回 精華地域学校規模適正化推進協議会を11月28日（金）に南部公民館精華分館で開催しました。

#### 会長・副会長が選出されました。

委員は地域住民の代表10名、保護者代表9名、学校関係者6名の計25名から構成されています。

会長に精華地区自治連合会会長の赤井さんが、副会長に精華小学校PTA会長の堺さん、幼稚園育友会会長の梅寄さん、幼稚園評議員の西森さん、小学校・幼稚園の佐味谷校園長が選出されました。

#### 学校規模適正化実施方針と精華地域実施計画（案）について説明しました。

協議会では奈良市における学校規模適正化実施方針と精華地域実施計画（案）について、教育委員会から説明し、質問等をいただきました。

現在行っている、精華幼稚園と帯解幼稚園の交流保育を活かし、また、今後、小学校同士の児童の交流や学校間の連携を進め、園児児童が多様な経験や体験ができ、子ども同士の人間関係が高まり、学習が進められるようにしていきたいと考えています。

今後、協議会のご意見をもとに統合再編に向け、計画を進めていきたいと考えています。

## 精華地域実施計画（案）の概要について

精華幼稚園・精華小学校では、右表のような園児児童数の状況があり、今後も幼稚園では10人を超えない状況が続き、小学校においては全校児童数が25人前後を推移する状況が続くと考えられます。

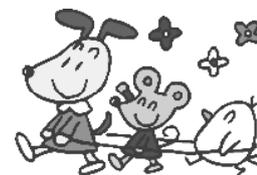
学校規模の適正化を進めるにあたり、小規模校のメリット・デメリットについても検討を行いました。

	H15年度	H20年度	H24年度
精華幼稚園	4	4	6
帯解幼稚園	21	14	15
精華小学校	43	25	21
帯解小学校	155	150	159

H24年度は、住民基本台帳による推計値

小規模校のメリットとしては、例えば・・・

- ・ 家庭的な雰囲気の中で学習できる。
- ・ 一人一人が主役として活躍することができる。
- ・ 他学年との交流ができやすく、互いを思いやる気持ちが育つ。



小規模校のデメリットとして、例えば・・・

- ・ 子ども同士の交流が限られ、人間関係が固定化されやすい。
- ・ グループ学習などでは、他のグループの違った意見や考えと比較することが少なく、多様な考え方や見方を取り入れにくい。
- ・ サッカーなど集団で行うゲームでは、正しいルールや試合方法を体得することが難しい。

など、他にもさまざまなものが考えられます。

そこで、教育委員会では、園児児童が多様な経験や体験ができ、子ども同士の人間関係が高まり、学習が進められるよう学校規模の適正化を計画しています。

**精華幼稚園**については、帯解幼稚園（いずれも過小規模園）との統合・再編を計画しています。

なお、精華と帯解の2園を統合・再編しても過小規模であることから、帯解保育園と再編し「認定こども園」制度という新しい制度を導入し、長時間保育や子育て支援の充実を図る計画をしています。

**精華小学校**については、現在1年生1学級と3・4年生、5・6年生の複式学級が2学級で、全校3学級の25人です。今後もこのような状況が続くことから、精華小学校・帯解小学校の統合・再編を行い、複式学級の解消などの計画をしています。

## 「認定こども園」制度について

幼稚園と保育所の機能をあわせもった「認定こども園」は、保護者の就労に関係なく教育と保育が受けられる施設です。「認定こども園」という名前になりますが、現在の幼稚園と同じように利用することもできます。また、給食や預かり保育、子育て相談なども実施します。

## 次のようなご意見やご質問をいただきました。

(意見) 地域に学校がなくなるということになるが、この協議会では、子どものことをまず考えないといけないと思う。

(質問) 精華小学校と帯解小学校を対等のものだと考えているが、吸収合併では困る。

(回答) 吸収合併ではありません。精華・帯解ともに推進協議会で検討し、互いに協議も進めます。

(質問) 精華小学校と帯解小学校が一緒になっても小規模になる。今後、また合併とはならないのか。

(回答) 児童数の推移をみると、150～180人の規模を確保できるので、今回計画している平成28年度までについては、今のところ再度の統合・再編の予定はありません。

(事務局) 今回いただきましたご意見を参考に、今後、作業部会を開いて、要望やご意見をまとめていただき、協議を進めていきたいと考えております。